

2021年度 授業シラバスの詳細内容

○基本情報			
科目名	高齢者福祉論 (Study of Elderly Welfare)		
ナンバリングコード	E20905	大分類 / 難易度 科目分野	経営経済学科 専門科目 / 標準レベル 社会福祉
単位数	2	配当学年 / 開講期	2年 / 前期
必修・選択区分	選択: 経営経済学部 ※入学年度及び所属学科コースで異なる場合がありますので、学生便覧で必ず確認してください。		
授業コード	E041601	クラス名	-
担当教員名	河村 裕次		
履修上の注意、履修条件	<ul style="list-style-type: none"> ・本講義は、社会福祉士国家試験受験資格取得に必要な科目となっています。 ・講義では、 見ること、聞くこと、真剣に考えること、そして、自分の意見を持つことを心がけてください。 ・授業時の座席指定: なし ・毎講義開始時に授業プリントを配布します。講義を欠席した場合等は、研究室に取りに来てください。また、配布したプリントは、各自で保管をしてください。 		
教科書	毎講義においてプリントを配布します。		
参考文献及び指定図書	高齢者に対する支援と介護保険制度(中央法規)、その他参考テキストについては、講義時に随時紹介します。		
関連科目	介護概論、地域福祉論、コミュニティワーク論、社会福祉原論、障害者福祉論、児童福祉論、相談援助の基盤と専門職、相談援助の理論と方法		

○基本情報							
授業の目的	わが国においては、少子化の進展とともに人口の高齢化が急速に進み、要介護高齢者を取り巻く諸問題が今後より一層深刻化していくことが考えられる。本講義では、高齢社会の背景を踏まえつつ、高齢者の特性(身体的、心理・社会的)や高齢者の生活実態とこれを取り巻く社会情勢、福祉・介護需要(高齢者虐待や地域移行、就労の実態等)について理解していきます。また、本科目ではこども・福祉マネジメントコースが養成する人材像のうち、「地域共生のために必要な知識」について、現在高齢者を取り巻く事象について知り、それらを解決していくための方策について考えていきます。						
授業の概要	まず、高齢者の特性について学んでいきます。その後、少子化高齢化と高齢者、高齢者福祉の変性、高齢者を取り巻く関係法規について学んでいきます。						
授業の運営方法	<table border="1"> <tr> <td>(1) 授業の形式</td> <td>「講義形式」</td> </tr> <tr> <td>(2) 複数担当の場合の方式</td> <td>「該当しない」</td> </tr> <tr> <td>(3) アクティブ・ラーニング</td> <td>「該当なし」</td> </tr> </table>	(1) 授業の形式	「講義形式」	(2) 複数担当の場合の方式	「該当しない」	(3) アクティブ・ラーニング	「該当なし」
(1) 授業の形式	「講義形式」						
(2) 複数担当の場合の方式	「該当しない」						
(3) アクティブ・ラーニング	「該当なし」						
地域志向科目	カテゴリー III: 地域における課題解決に必要な知識を修得する科目						
実務経験のある教員による授業科目	該当なし						

○成績評価の指標		○成績評価基準(合計100点)		
到達目標の観点	到達目標	テスト (期末試験・中間確)	提出物 (レポート・作品等)	無形成果 (発表・その他)
【関心・意欲・態度】	・高齢者を取り巻く問題、課題について関心を示すことができる。		10点	
【知識・理解】	・高齢者の特性や生活実態等、取り巻く環境等について理解している。 ・高齢者福祉の変性について理解している。	40点	20点	
【技能・表現・コミュニケーション】	・講義内容を踏まえ、高齢者福祉に取り巻く諸問題について、自らの考えを表現することができる。		20点	
【思考・判断・創造】	・これからの高齢者福祉のあり方について表現することができる。		10点	

○成績評価の補足(具体的な評価方法および期末試験・レポート等の学習成果・課題のフィードバック方法)
<p>定期試験及び毎講義のリアクションペーパー等をもとに総合的に判断します。</p> <p>[Sレベル] 単位を修得するために達成すべき到達目標を満たしている。</p> <p>[Aレベル] 単位を修得するために達成すべき到達目標をほぼ満たしている。</p> <p>[Bレベル] 単位を修得するために達成すべき到達目標をかなり満たしている。</p> <p>[Cレベル] 単位を修得するために達成すべき到達目標を一部分満たしている。</p> <p>※リアクションペーパーの記述内容及び記載された質問等については、次回の講義時などに可能な限りコメントをします。</p>

○その他
<ul style="list-style-type: none"> ・進行状況や学修状況等により講義内容の追加や削除等変更をする場合があります。 ・講義内容についての質問・要望等は、講義終了後または研究室(メールも可)に来てください。 ・社会福祉士受験資格取得には、本科目及び「介護概論」(後期開講科目)の単位修得が必要となります。

2021年度 授業シラバスの詳細内容

○授業計画	科目名 担当教員	高齢者福祉論 (Study of Elderly Welfare) 河村 裕次	授業コード	E041601
学修内容				
1. オリエンテーション 本講義の目的及び到達目標等について説明します。 また、今日の高齢者福祉を取り巻く課題を取り上げ、本講義を学ぶ意味・意義について考えていきます。				
予習	講義の目的等について、シラバスを熟読する			約2時間
復習	講義の内容を踏まえ、リアクションペーパーを作成する			約2時間
2. 高齢者の社会的理解 高齢者の「生活の変化」、「家族との関係性」、「社会参加と生きがい」、「安全と差別」等をキーワードに、高齢者について社会的視点から理解をしていきます。				
予習	キーワードについてそれぞれ調べる			約2時間
復習	講義内容を踏まえ、リアクションペーパーを作成する			約2時間
3. 高齢者の身体的理解 高齢者の加齢に伴う、「身体的機能の変化」、「運動能力の変化」等をキーワードに、高齢者の加齢による身体的変化について理解していきます。				
予習	キーワードについてそれぞれ調べる			約2時間
復習	講義内容を踏まえ、リアクションペーパーを作成する			約2時間
4. 高齢者の精神的理解 高齢者の「イメージ」、「心理的特徴」、「心の病気」等をキーワードに、高齢者について精神的变化の視点から理解をしていきます。				
予習	キーワードについてそれぞれ調べる			約2時間
復習	講義内容を踏まえ、リアクションペーパーを作成する			約2時間
5. 高齢者の総合的理解 2～4回目の講義の内容も踏まえ、高齢者の「生涯発達」、「ライフサイクルとライフコース」、「死生観」をキーワードに、人生における高齢期の意味するものについて考えていきます。				
予習	キーワードについてそれぞれ調べる			約2時間
復習	講義内容を踏まえ、リアクションペーパーを作成する			約2時間
6. 少子高齢社会と社会的問題 少子高齢化の「現状」と「その要因」、「地域間格差」等をキーワードに、少子高齢社会の現状と課題について考えていきます。				
予習	キーワードについてそれぞれ調べる			約2時間
復習	講義内容を踏まえ、リアクションペーパーを作成する			約2時間
7. 高齢者を取り巻く諸問題 高齢者の「健康問題」、「介護問題」、「経済的問題」、「生活意識上の諸問題」等をキーワードに、少子高齢化に伴う高齢者を取り巻く諸問題について考えていきます。				
予習	キーワードについてそれぞれ調べる			約2時間
復習	講義内容を踏まえ、リアクションペーパーを作成する			約2時間
8. 高齢者福祉の発展1 「鰥寡孤独」、「姥捨山伝説」等をキーワードに高齢者の高齢者福祉の起源について理解していきます。				
予習	キーワードについてそれぞれ調べる			約2時間
復習	講義内容を踏まえ、リアクションペーパーを作成する			約2時間

○授業計画	科目名 担当教員	高齢者福祉論 (Study of Elderly Welfare) 河村 裕次	授業コード	E041601
学修内容				
9. 高齢者福祉の発展2 「四箇院」、「恤救規則」、「救護法」、「養老院」等をキーワードに、高齢者福祉の生成について理解していきます。				
予習	キーワードについてそれぞれ調べる			約2時間
復習	講義内容を踏まえ、リアクションペーパーを作成する			約2時間
10. 高齢者福祉の発展3 「老人福祉法」、「福祉六法」、「養護老人ホーム・特別養護老人ホーム」、「老人保健法」等をキーワードに、昭和期の高齢者福祉の変遷について理解していきます。				
予習	キーワードについてそれぞれ調べる			約2時間
復習	講義内容を踏まえ、リアクションペーパーを作成する			約2時間
11. 高齢者福祉の発展4 「介護保険」、「社会保障改革」等をキーワードに、平成期の高齢者福祉の変遷について理解していきます。				
予習	キーワードについてそれぞれ調べる			約2時間
復習	講義内容を踏まえ、リアクションペーパーを作成する			約2時間
12. 高齢者保健福祉の法体系1(高齢社会対策基本法・高齢者社会対策大綱) 高齢者に関する法制度について、「高齢者社会対策金法」、「高齢社会対策大綱」をキーワード(取り上げ)、高齢者保健福祉の法体系について理解していきます。				
予習	キーワードについてそれぞれ調べる			約2時間
復習	講義内容を踏まえ、リアクションペーパーを作成する			約2時間
13. 高齢者保健福祉の基本体系2(老人福祉法) 高齢者に関する法制度について、「老人福祉法」をキーワード(取り上げ)、老人福祉法設立の経緯、内容等について理解をしていきます。				
予習	キーワードについてそれぞれ調べる			約2時間
復習	講義内容を踏まえ、リアクションペーパーを作成する			約2時間
14. 高齢者保健福祉の基本体系3(高齢者の医療の確保に関する法律) 高齢者に関する法制度について、「高齢者の医療の確保に関する法律」をキーワード(取り上げ)、高齢者の医療の確保に関する法律が成立した背景、その内容、高齢者医療制度をめぐる現状について理解していきます。				
予習	キーワードについてそれぞれ調べる			約2時間
復習	講義内容を踏まえ、リアクションペーパーを作成する			約2時間
15. 高齢者保健福祉の基本体系4(高齢者虐待防止法, その他の関係法規) 高齢者に関する法制度について、「高齢者虐待防止法」、「バリアフリー法」、「高齢者の居住の安定確保に関する法律」をキーワード(取り上げ)、高齢者を取り巻く法制度について理解をしていきます。				
予習	キーワードについてそれぞれ調べる			約2時間
復習	講義内容を踏まえ、リアクションペーパーを作成する			約2時間
16. 期末試験 期末試験の詳細については、15回目にお伝えします。				
予習	これまでの講義資料等を整理するとともに、講義内容について振り返る			
復習				